

景気動向指数

1 福岡県の景気動向指数（2018年1月）

- (1) 先行指数：2か月連続で50%を下回った。
- (2) 一致指数：2か月ぶりに50%を上回った。
- (3) 遅行指数：2か月連続で50%を上回った。

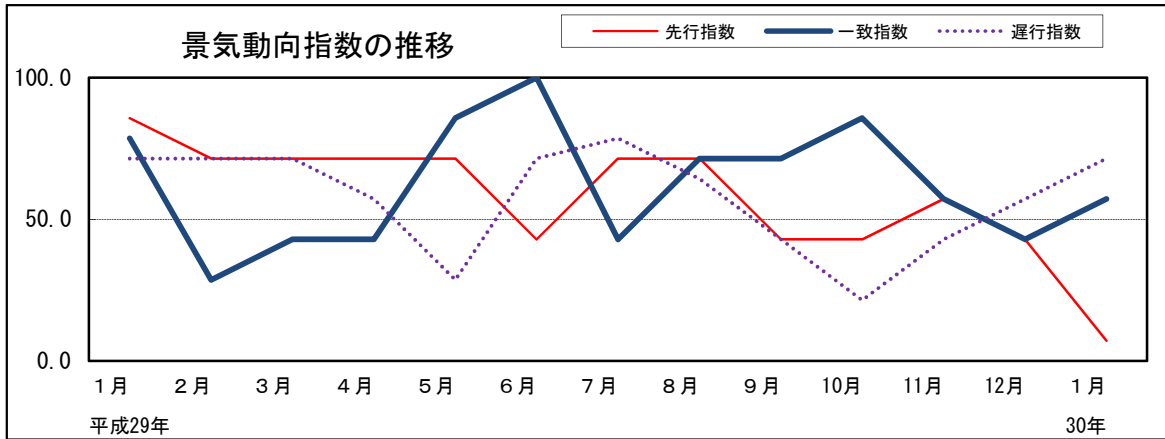
福岡県

		先行指数	一致指数	遅行指数
平成29年 (2017)	1月	85.7	78.6	71.4
	2月	71.4	28.6	71.4
	3月	71.4	42.9	71.4
	4月	71.4	42.9	57.1
	5月	71.4	85.7	28.6
	6月	42.9	100.0	71.4
	7月	71.4	42.9	78.6
	8月	71.4	71.4	64.3
	9月	42.9	71.4	42.9
	10月	42.9	85.7	21.4
	11月	57.1	57.1	42.9
	12月	42.9	42.9	57.1
平成30年	1月	7.1	57.1	71.4

全国

		先行指数	一致指数	遅行指数
平成29年 (2017)	1月	90.9	44.4	83.3
	2月	63.6	66.7	88.9
	3月	72.7	55.6	83.3
	4月	45.5	100.0	66.7
	5月	63.6	55.6	55.6
	6月	45.5	88.9	55.6
	7月	63.6	33.3	55.6
	8月	81.8	77.8	50.0
	9月	72.7	55.6	66.7
	10月	68.2	66.7	100.0
	11月	68.2	61.1	88.9
	12月	50.0	88.9	88.9
平成30年	1月	60.0	50.0	62.5

資料出所：福岡県調査統計課、内閣府「景気動向指数(DI)」



○ 個別系列の変化方向

	プラスの指標（3か月前との比較）	マイナスの指標（3か月前との比較）
先行系列		<ul style="list-style-type: none"> ▼生産財生産指数 ▼新規求人数 新設住宅着工床面積 日経商品指数 輸入通関実績 最終需要財在庫率指数
一致系列	<ul style="list-style-type: none"> △所定外労働時間数<製造業> 単位労働コスト<製造業> △スーパー販売額 有効求人倍率 	<ul style="list-style-type: none"> 鉦工業生産指数<総合> ▼鉦工業出荷指数<総合> 輸出通関実績
遅行系列	<ul style="list-style-type: none"> 雇用保険受給者実人員 鉦工業在庫指数<総合> 消費者物価指数（福岡市） 勤労者世帯消費支出（福岡市） △地銀貸出約定平均金利 	<ul style="list-style-type: none"> 常用雇用指数<全産業> 法人事業税調定額

※△は前回のマイナス指標からプラス指標になったことを、▼はプラス指標からマイナス指標になったことを示す。

景気動向指数

2 福祉の累積動向

資料出所

(参考)

毎月
累積

累積

累積D Iは、基調的な動きをわかりやすく、視覚的にとらえやす

昭和46年12月	昭和48年11月	昭和50年7月	昭和53年4月
昭和50年7月	昭和52年3月	昭和53年4月	昭和58年5月
昭和53年4月	昭和55年2月	昭和58年5月	昭和62年2月
昭和58年5月	昭和60年7月	昭和62年2月	平成3年4月
昭和62年2月	平成3年4月	平成6年5月	平成9年6月
平成6年5月	平成9年6月	平成11年2月	平成12年9月
平成11年2月	平成12年9月	平成14年2月	平成20年5月
平成14年2月	平成20年5月	平成21年2月	平成24年5月
平成21年2月	平成24年5月	平成25年	

(参考) 景気基準日付

景気の拡張局面と景気の後退局面を分ける景気の転換点から作成されるヒストリカルD I (HD I) が50%を境として拡張局面と後退局面を分ける転換点となります。HD I が50%を下から上に切るときが景気の「谷」といわれています。

※HD I : 通常使用している一致指数から不規則変動を除去した